

MITSUBA

ARENA III

アリーナIII

取付・取扱説明書

N-002-005-D

このたびは、弊社商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
この取付・取扱説明書は、商品の正しい使い方や取り付け方、使用上の注意について記載しております。
本書を最後までお読み頂き、商品を正しく取り付けし、お使いください。
また、本書が必要になったときすぐに利用出来るように大切に保管してください。

商品に関するお問い合わせ窓口

株式会社ミツバサンコーワ カスタマーサポートセンター
〒379-2312 群馬県みどり市笠懸町久宮 289-3
☎ 0277-30-5802

調査及び修理をご依頼の前に

- 本書裏面の「故障かなと思ったら」を参考に、故障かどうか確認してください。故障とお考えの前に、お買い上げの販売店様または弊社カスタマーサポートセンターまでご相談ください。お取り付け上の誤りや、改造により故障及び損傷した場合は、修理対応出来ませんのでご注意ください。
- 調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。
- 弊社では、商品の調査時の代品等の貸し出しは、一切おこなっておりません。また、調査時に発生した工賃等の諸費用は、お客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。

1 注意事項

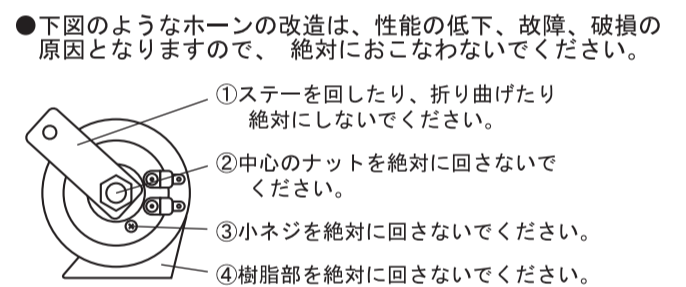
ここには、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されることを意味します。

- 本品は、自動車用警告音器（12V車専用）です。これ以外の用途への使用は、商品や周辺機器の故障及び思わぬ事故の原因となりますのでおやめください。（バイク等には使用出来ません）
- 本品の取り付け方法・位置によっては、性能の低下や音の反響・こもり等により、道路運送車両法の保安基準に適合出来ない場合があります。
※自動車へのお取り付けにあたっては、以下の保安基準に適合させる必要があります。
・警告音の音の大きさは、自動車の前方7mの位置において、112dB以下 87dB以上であること。＜道路運送車両の保安基準の細目を定める告示 第219条＞
- コードの配線は、高温になる場所、回転機等動く装置の近くを避けて確実に配線・固定してください。本品や車の故障、さらにはショートによる車両火災の恐れがあります。
- 純正ホーンに接続されていた車両側コネクタを外したまま使用する場合、ビニールテープ等で確実に絶縁し固定してください。ショートによる車両火災の恐れがあります。
- 万一、本品が鳴らなくなってしまった場合には、直ちに純正ホーンに戻す等処置をしてください。ホーンが鳴らない状態で運転すると、整備不良車両となります。また、思わぬ事故の原因となります。（取り外した純正ホーンは、万一のために保管しておいてください。）

注意 取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険性が想定されることを意味します。また、物的損害が発生する恐れがあることを意味します。

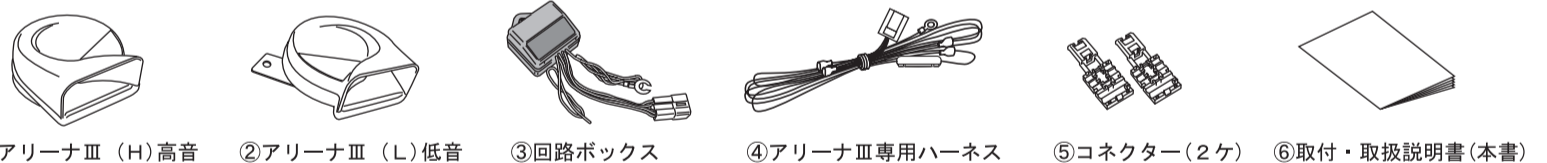
- 安全のため、作業前にバッテリーのマイナス端子を外しておいてください。外さずに作業するとショートする恐れがあります。なお、不用意に車両部品の脱着等をおこなうと、車両搭載装置に影響を及ぼす場合があります。本品の取り付けに際しては、車両の取扱説明書や整備マニュアルまたはカーディーラー等で、車両部品の脱着方法や車両搭載装置への影響等を、事前に確認してください。
- 本品のホーン及び回路ボックスは、高温となる場所、振動の激しい場所、水の直接掛かる場所等を極力避けて取り付けしてください。故障の原因となります。また、本品のホーンは共鳴管の原理を応用しているため、周囲の温度が高すぎたり、低すぎる場合には、音速の変化が影響し、共鳴しづらくなります。その結果、音圧低下や余韻の途切れが発生する場合がありますが、故障ではありません。
- 本品のホーンと回路ボックスはセットで調整及び性能検査しております。以下のことを必ずお守りください。
・他のセットのホーンや回路ボックスと入れ替えて使用しないでください。性能の低下、故障の原因となります。
・本品の回路ボックスを他の電磁式ホーンと組み合わせて使用しないでください。故障、破損の原因となります。
・本品のホーンは、必ず付属の回路ボックス、専用ハーネスと組み合わせて使用してください。
絶対にホーンに端子に電圧を直接印加しないでください。ホーンに電圧を直接印加するとホーンの内蔵部品が破損します。
- ホーンは長時間（30秒以上）連続して鳴らさないでください。故障の原因となります。
- 本品のホーン及び回路ボックスを落下させたり、叩いたり、強い衝撃を与えないでください。また、分解・改造（塗装やコーティング、シール類をはがす等も含む）をしないでください。性能の低下、故障、破損の原因となります。
- 本品のホーン及び回路ボックスに、高圧洗車機等で強く水をかけないでください。故障の原因となります。
- 本品の不具合については、弊社製造上の欠陥を除き責任を負いかねますので、取り扱いに十分ご注意ください。



2 主な仕様と構成部品

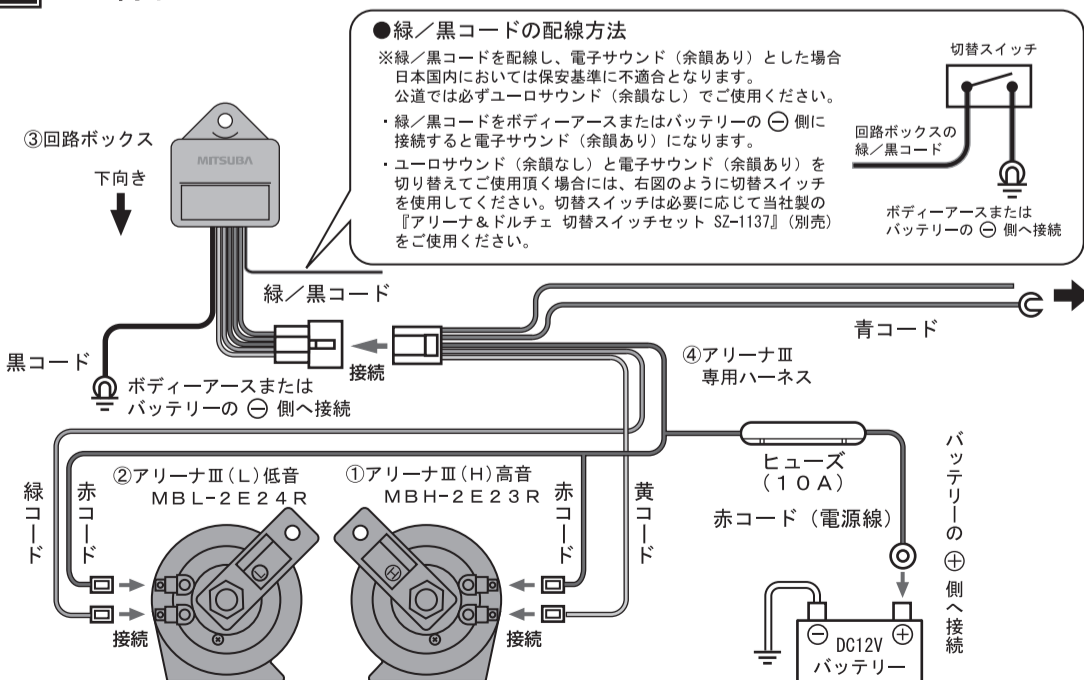
定格電圧	DC12V
電流	4A×2
音圧レベル	113dB/2m
周波数	Hi: 480Hz Lo: 400Hz

構成部品



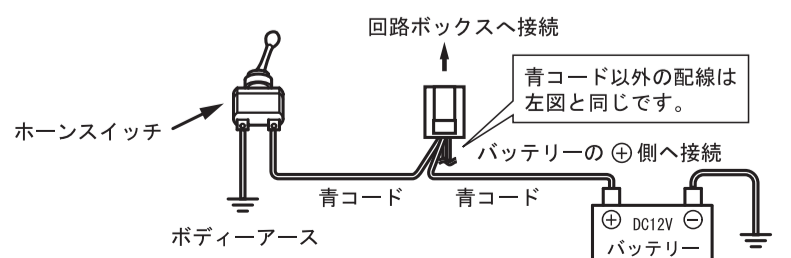
※商品の仕様及び外観は予告なく変更することがあります。

3 配線図



【参考】別途ホーンスイッチを設ける場合の配線例

※ホーンスイッチは、電流容量：0.2～5A程度のもをご使用ください。



- 高音ホーンと低音ホーンでは、接続するコードの色が異なります。詳しくは、ホーンのスチールに貼ってあるシールをご覧ください。
- ボディアースとは、コードを車体の金属部に接続することで、間接的にバッテリーのマイナスに接続することです。金属部の汚れや塗装等を取り除いて確実に接続してください。ボディアースが確実に接続されていない場合は、ホーンが鳴りません。

<<保証規定>>

保証範囲や条件など詳しい内容についてご説明します。必ずお読みください。

お買い上げ頂きました本品は、弊社の厳しい品質管理のもとで製造されたものです。万一、製造上の不具合がありました場合には、この保証書に示す条件に従って無償で修理・交換させていただきます。

修理は、お買い上げ店に保証書・不具合内容を提示の上、ご依頼ください。

- この保証書は保証期間が満了したときに効力を失うものとします。
また保証期間内であっても商品が日本国外に持ち出されたときは効力を失うものとします。
(This warranty is valid only in Japan.)
- この保証書は破損または紛失した場合でも再発行は致しませんので大切に保管してください。

次に該当する場合は、保証期間内であっても無償修理の対象となりませんので、ご注意ください。

- 本品を分解・改造した形跡が認められた場合。(本品のシール類をはがした場合も含む)
- お客様の故意または過失による故障と認められた場合。
- 地震・台風・水害などの天災ならびに火災・事故・その他紛争などによる損傷が認められた場合。
- 取付・取扱説明書に記載されている諸事項が守られなかったために不具合が発生した場合。
- 保証書の提示がないか、あるいは記載事項の不足、文字の書き換えが認められた場合
- 販売店様の押印またはレシートが無い場合。

キリトリせん

4 取り付け方法

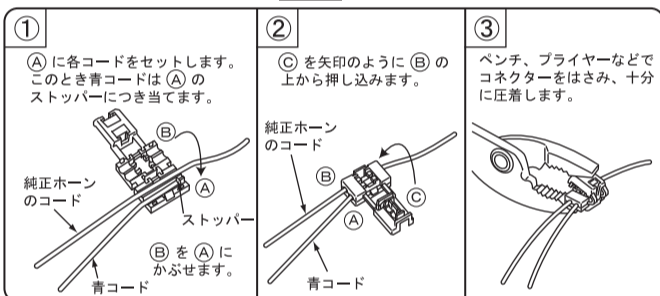
安全のため、作業前にバッテリーのマイナス端子を外しておいてください。外さずに作業するとショートする恐れがあります。なお、不用意に車両部品の脱着等をおこなうと、車両搭載装置に影響を及ぼす場合があります。本品の取り付けに際しては、車両の取扱説明書や整備マニュアルまたはカーディーラー等で車両部品の脱着方法や車両搭載装置への影響等を、事前に確認してください。

1 ホーンの取り付け、青コードの接続

- ①純正ホーンの場合と個数及びホーンから出ている端子数(1端子か2端子か)を確認してください。
- ②純正ホーンに接続されているコードをホーンから外し、他の部分と接触しないように先端をビニールテープ等で確実に絶縁してください。
- ③アリーナIII専用ハーネスの青コードを裏面の配線図に従い、純正ホーンから外したコードに接続してください。
また、接続には付属のコネクターを使用してください。(図1参照)
接続後は、防水・絶縁のためテーピングしてください。

それぞれの端子をテーピング

コネクター接続方法 図1



- ④アリーナIII専用ハーネスの赤、緑、黄コードをアリーナIIIの各端子に接続してください。(図2参照)

ポイント

ホーンの高音、低音を間違えて接続しないよう注意してください。高音、低音を間違えると正常に鳴りません。また、端子の接続が不確実だと接触不良や端子抜けの原因となります。

- ⑤ホーンの取り付け場所として、高温となる場所、振動の激しい場所、水の直接掛かる場所等を極力避け剛性の高い鉄板部分を探し、決定してください。

ポイント

高温となる場所に取り付けた場合、音圧の低下や故障の原因となります。
純正ホーンの取り付け位置であっても、剛性の低い場合があります。正常に鳴らなったり脱落の原因となります。
また周囲の部品と干渉した場合、車両故障や破損の原因となります。
ホーンは、周囲の部品やボディー等に接触しないように取り付けてください。
接触していると正常に鳴らなったり、ホーンが破損して脱落し、思わぬ事故の原因となります。

- ⑥ホーンの開口部を下向きにし、ボルト・ナットで確実に固定してください。(図3参照)

ポイント

ホーンの渦巻き内に水がはまらないように、開口部を下向きに取り付けてください。渦巻き内に水が入ると正常に鳴らなくなったり故障の原因となります。

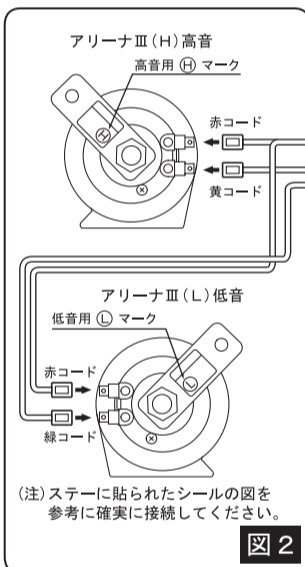


図2

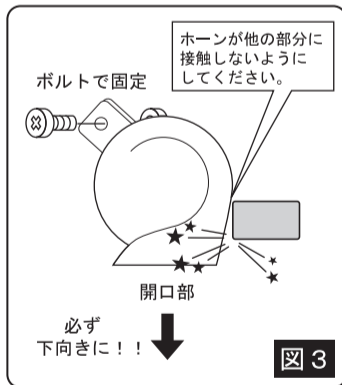
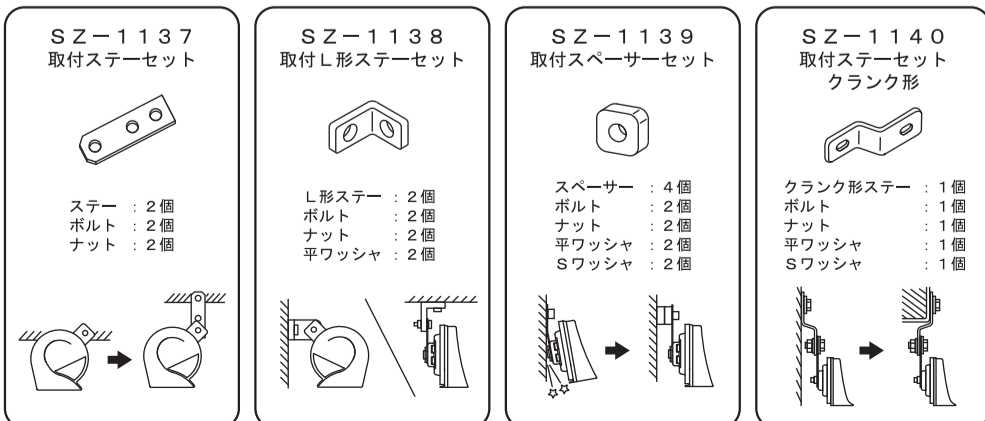


図3

<<ホーンステーションのご紹介>>

別売のホーンステーションシリーズをご使用頂くことで、ホーン取り付け場所の選択肢が広がります。



2 回路ボックスの取り付け

- ①水がかかりにくく、エンジンの熱の影響を受けない場所を探してください。

ポイント

水の浸入や熱は、故障の原因となります。HIDのイグナイターやバラストの近くへは取り付けしないでください。故障の原因となります。

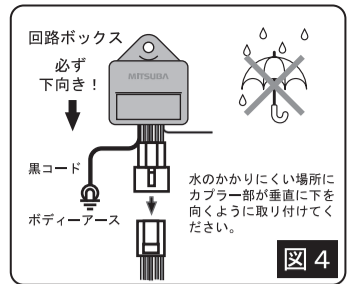


図4

- ②リード線の引き出し口が下を向くように取り付けてください。(図4参照)
- ③回路ボックスのカプラーにアリーナIII専用ハーネスのカプラーを接続してください。
- ④回路ボックスから出ている黒コードをボディーアースしてください。

ポイント

ボディーアースとは、コードを車体の金属部に接続することで、間接的にバッテリーのマイナスに接続することです。金属部の汚れや塗装等を取り除いて確実に接続してください。ボディーアースが確実に接続されていない場合は、ホーンが鳴りません。

3 赤コード(電源線)の接続

- ①アリーナIII専用ハーネスの赤コードをバッテリーのプラス端子に接続してください。

4 吹鳴テスト

- ①取り付け作業前に外したバッテリーのマイナス端子を元通りに接続してください。
- ②ホーンスイッチを押して、ホーンが正常に鳴ることを確認してください。

ポイント

吹鳴テストの際は、ホーンの近くに人がいないことを確認してください。至近距離で吹鳴させると、耳に傷害を起こす恐れがあります。

5 仕上げ(配線処理・整理)

- ①各配線が他の装置等に触れないように整理し、固定してください。

ポイント

配線処理を怠ると、配線が他の装置に触れたり、絡まったり、車体に噛み込んだりし思わぬ事故の原因となりますので、確実に処理してください。

6 電子サウンドについて

- 本品は以下の2種類のサウンドを有しています。
(1) ユーロサウンド(PA! : 余韻なし)
(2) 電子サウンド(PAAAAAN! : 余韻あり)

※電子サウンドの余韻の長さは高音側と低音側で多少異なる場合があります。

回路ボックスから出ている緑/黒コードをボディーアースまたはバッテリーのマイナス端子に接続すると、電子サウンド(PAAAAAN!)となります。

※電子サウンド切り替え用のスイッチ部品は同梱していません。必要に応じて当社製『アリーナ&ドルチェ 切替スイッチセット SZ-1137』(別売)をご使用ください。

【参考】切り替えスイッチには、電流容量: 0.2~5A程度のものをご使用ください。

- 本品の電子サウンドは、日本国内においては保安基準に不適合と判断されます。公道では、必ずユーロサウンド(余韻なし)をご使用ください。

5 故障かなと思ったら

下表の確認をおこなってください。確認をおこなっても正常に吹鳴しない場合は本書表面に記載の弊社カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

症状	確認項目
ホーンが全く鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> 青コードの接続及びコネクターの接触を確認してください。(裏面の配線図、左記図2) 回路ボックスの黒コードがボディーアースされているか確認してください。(2-④) 赤コード(電源線)のヒューズまたは車両のホーンヒューズが切れていないか確認してください。 ホーンの分解・改造をしていませんか? 分解・改造してしまった場合は、修理出来ません。ホーンの交換が必要です。【下記●お願い参照】
ホーンが片側鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> 鳴らないホーンのコード接続状態を確認してください。
音が極端に小さい	<ul style="list-style-type: none"> 高音側、低音側の配線間違いはありませんか? ホーンの渦巻き部に水が入っていませんか? ホーンを取り外し、振ってみて水の音がしないか確認してください。水が入ってしまった場合には修理出来ません。ホーンの交換が必要です。【下記●お願い参照】
電子サウンドにならない	<ul style="list-style-type: none"> 緑/黒コードのボディーアース接続状態を確認してください。
電子サウンドの余韻が極端にズれる	<ul style="list-style-type: none"> ホーンが周囲の部品やボディー等に接触していないか確認してください。

●お願い【ホーン・回路ボックスを単品購入頂く際の注意事項】

本品のホーンと回路ボックスの組み合わせを変更する場合には、調整が必要となります。ホーンまたは回路ボックスを単品購入頂く際は、組み合わせてご使用頂く回路ボックスまたはホーンを添えて、本品をご購入の販売店にてご注文ください。

下記HPサイト及びモバイルサイトから商品等の情報をご覧頂けます。

パソコンからはこちら <http://www.mskw.co.jp>

携帯電話・スマートフォンからはこちら

※機種によってはアクセス出来ない場合があります。



ミツバサンコープモバイルサイト
<http://www.mskw.co.jp/mobile/>